



08人勤闘争最終盤 中央行動と人事院・各省庁交渉を展開。裏面に「7.17中央総決起集会」と人事院交渉記事掲載しています。

■6級ポスト発令■  
全国税が調査したところ、一般上席からの6級ポストは、各局で多少のばらつきはあるものの、発令総数のおおむね40%前後に留まっています。来年3月定年退職を迎える普27期は、全国税組合員で1名(東京)、「5級上席で定年退職」の切捨て人事は年々固定化されています。

表1・局署別6級ポスト発令推移(東京地連調査)

	05年度	06年度	07年度	08年度
局	88	109	121	91
署	内81	内70	内118	内94
計	164	164	199	158
計	252	273	320	249

※署の内書きは一般上席からの昇任した数

表2・増える「上席のまま定年退職」(東京地連調査)

02・7	03・7	04・7	05・7	06・7	07・7	08・7
6	21	21	15	25	24	調査中

※定年退職9ヵ月前で6級ポスト未発令の推移

■記帳、異動保障■  
「育児や介護、健康状態、通勤事情等の身上に配慮」「特定事業主行動計画の趣旨を踏まえ、仕事と子育ての両立支援」の発令か、それも配転により退職に追い込まれないか、現在検証中です。各局で「異動規模は圧縮」と説明していますが、共通して内部事務一元化にむけた賦課部門と管徴部門の交流を統括官も含

■相談官に将来不安■  
税目分担となる相談官め拡大しています。地域手当の異動保障にからんで、「住宅ローンや教育のこともあり、できるだけ配慮した」という説明もありますが、保障が切れてしまう職員は後を絶ちません。東京局への出向は規模を縮小しながら続いています。大阪局へのUターンは減少しています。

■パワハラ対策配置か■  
処分指針が明確に示されたセクハラと同等以上

■訂正■ 前号の全国税組合員に内示された6級ポストの内訳(特官14、統括官8、国税官1、評価官1)に誤りがありました。特官13、評価官2に訂正します。

「時短力」に取組んできた裁判所の労働組合・全司法からのレポート。その「症状欄に並んだものとは」ゆとり欠乏症、休憩時間欠乏症、通勤疲労、慢性疲労、疲労蓄積症、早くしなきヤストレス症候群、効率悪化病、少子化対策矛盾病、人間関係不全症等々

3年前「給与構造の改悪(図1)」が強行され、俸給水準引下げとあわせ「勤務実績の給与への反映」が打ち出されました。この動きを先取りした国税庁は、「上席としての職責を果たしていない」など漠然とした理由で、その年の6月末に「勤続手当の低率支給」7月には「定期昇給未発令」を数多く強行しました。今年「勤続手当の低率支給」を一層拡大させ、7月の定期異動と昇任・昇格でも「良く職責を果たしたか否か」「目立った仕事を果たしたか否か」という漠然とした「基準」で選別・差別を強化しています。そのため、閉塞状態にある中高年層職員の処遇改善は先送り、女性職員の処遇「底上げ」もままならず、青年間差別も解消どころか拡大する事態が生じています。

「本人同意の下、10名の統括官等が降格となる」と東京局幹部が明らかにしました。自身の健康や家族の介護等の問題が深刻さを増す中にあっても、当局は当該職員に厳しく「職責を突きつけています。その過程で、「降格をのむのか、それとも退職か」を執拗に迫る事例が起きている。

「本人同意の下、10名の統括官等が降格となる」と東京局幹部が明らかにしました。自身の健康や家族の介護等の問題が深刻さを増す中にあっても、当局は当該職員に厳しく「職責を突きつけています。その過程で、「降格をのむのか、それとも退職か」を執拗に迫る事例が起きている。

「降格」させる事例が目立ちます。平成18年4月「女性職員の採用・登用拡大計画」画が策定されましたが、男女格差は縮まらず、逆に女性間の差が拡大する事態が進行しています。

「一元化へ賦課と管徴の交流拡大」  
相談官の処遇に暗雲、退職者増大  
パワハラ対策で当局の姿勢に変化の兆し?

このため、「実効ある計画」とするため具体的な数値目標を設定することにも、「(税大門戸開放前に採用された)年度採用女性に光をあて、全体の底上げを図る昇任・昇格発令を求めてきました。」「男女共同参画にも配慮し、女性職員の登用に努めた結果202名がポストに就く」(東京局幹部)と説明し、女性署長や指定官職数は増やす傾向がみられます。

「部下なし特官」にするなど、今回の発令はパワハラ問題に対する当局の対応が若干変化したことが想定されます。「遅い。キツチリ処分すべきだが、それでも英断ですかね」等の声に示されるように、職場の不慣れを払拭する発令とはまだ早急な対応が求められています。

「時短力」に取組んできた裁判所の労働組合・全司法からのレポート。その「症状欄に並んだものとは」ゆとり欠乏症、休憩時間欠乏症、通勤疲労、慢性疲労、疲労蓄積症、早くしなきヤストレス症候群、効率悪化病、少子化対策矛盾病、人間関係不全症等々

### 08年定期異動

## 50歳代の上席 切り捨ても同然 「実績評価」先取り↓「職責」で格差を拡大 女性の処遇「底上げ」、青年間差別是正拒否

「本人同意の下、10名の統括官等が降格となる」と東京局幹部が明らかにしました。自身の健康や家族の介護等の問題が深刻さを増す中にあっても、当局は当該職員に厳しく「職責を突きつけています。その過程で、「降格をのむのか、それとも退職か」を執拗に迫る事例が起きている。

「降格」させる事例が目立ちます。平成18年4月「女性職員の採用・登用拡大計画」画が策定されましたが、男女格差は縮まらず、逆に女性間の差が拡大する事態が進行しています。

「一元化へ賦課と管徴の交流拡大」  
相談官の処遇に暗雲、退職者増大  
パワハラ対策で当局の姿勢に変化の兆し?

このため、「実効ある計画」とするため具体的な数値目標を設定することにも、「(税大門戸開放前に採用された)年度採用女性に光をあて、全体の底上げを図る昇任・昇格発令を求めてきました。」「男女共同参画にも配慮し、女性職員の登用に努めた結果202名がポストに就く」(東京局幹部)と説明し、女性署長や指定官職数は増やす傾向がみられます。

「部下なし特官」にするなど、今回の発令はパワハラ問題に対する当局の対応が若干変化したことが想定されます。「遅い。キツチリ処分すべきだが、それでも英断ですかね」等の声に示されるように、職場の不慣れを払拭する発令とはまだ早急な対応が求められています。

「時短力」に取組んできた裁判所の労働組合・全司法からのレポート。その「症状欄に並んだものとは」ゆとり欠乏症、休憩時間欠乏症、通勤疲労、慢性疲労、疲労蓄積症、早くしなきヤストレス症候群、効率悪化病、少子化対策矛盾病、人間関係不全症等々

# 全国税

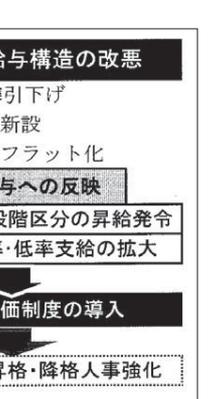
発行所 東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

### 「税務の職場」何でも110番

zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場」何でも110番を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号まで)。

◇全国税ホームページ◇  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei



このため、「実効ある計画」とするため具体的な数値目標を設定することにも、「(税大門戸開放前に採用された)年度採用女性に光をあて、全体の底上げを図る昇任・昇格発令を求めてきました。」「男女共同参画にも配慮し、女性職員の登用に努めた結果202名がポストに就く」(東京局幹部)と説明し、女性署長や指定官職数は増やす傾向がみられます。

「部下なし特官」にするなど、今回の発令はパワハラ問題に対する当局の対応が若干変化したことが想定されます。「遅い。キツチリ処分すべきだが、それでも英断ですかね」等の声に示されるように、職場の不慣れを払拭する発令とはまだ早急な対応が求められています。

「時短力」に取組んできた裁判所の労働組合・全司法からのレポート。その「症状欄に並んだものとは」ゆとり欠乏症、休憩時間欠乏症、通勤疲労、慢性疲労、疲労蓄積症、早くしなきヤストレス症候群、効率悪化病、少子化対策矛盾病、人間関係不全症等々

詰碁  
出題 九段 石榑都郎  
黒先  
(ヒント) 黒1、3の好手段で無条件生きにします。

# 08人勤最終盤 時短、賃金改善、非常勤の処遇改善を！

## 激暑のもとでの中央行動 2000名が参加

炎天下の7月17日、「なくせワーキングプア 引き上げる最低賃金 公務員賃金改善 労働基本権回復」と染め抜かれた手ぬぐいで汗を拭きながら、人事院・各府省庁への要求・要請、署名提出行動を実施しました。

この日の中央行動には全国から2000名をこえる官民の仲間が結集し、08人勤最終盤の中央行動を終日展開しました。



最低賃金大幅引き上げ、公務員賃金改善、労働基本権回復、公務員サービス向上 08夏季闘争勝利! 7.17中央総決起集会 主催:全労連・国民春闘共闘、公務労組連絡会

# 人事院 勧告をめぐる厳しさ強調 勤務時間見直し勧告 行うと表明したが

■春闘情勢と水準 ■ 較差のデータがまだ揃っていないが、賃金・一時金とも樂觀を許さない状況にある。今夏のボーナスが6年ぶり減少とい

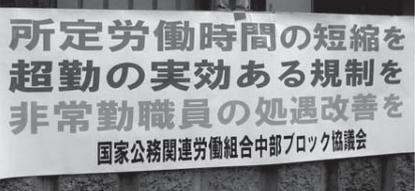
国公労連・全国税は7月16日、人勤期の重点課題で人事院と交渉。人事院から井上職員団体審議官が対応し、冒頭、以下の回答を行いました。

■非常勤職員の処遇 ■ 同様な仕事でも勤務先で差があり、それは整理しようとする「ガイドライン案」を提示した。更なる措置や雇用問題は「職」の整理に関わるもので多岐にわたる。関係

民間を含め問題事例が増加し苦情相続も出ており、共通の認識を持つ。ただ、パワハラ定義が未確立であり、民間事例も見ながら研究したい。

この回答に対し、以下の点を申し入れ、「職場の期待に添える勧告」を強く求めました。

▼すべの世代で俸給改



善の要望が強い。その中で初任給・青年層の底上げを重視している。

▼勤務時間短縮を明確に決意することが前提であり、交替制職場では実質的時短につながる制度改善が不可欠だ。

▼非常勤職員給与の「ガイドライン案」の最低水準は不十分だ。非常勤職員の位置づけを含め検討すると述べているが、処遇改善でさらに踏み込む方向を勧告で示すべき。

▼被害者も増え、メンタル不全の原因にもなっているパワハラについて、防止や対処方策に関する指針を出すべき。

### 非常勤職員給与に関する ガイドライン (案)

- 1 俸給に相当する給与については、当該非常勤職員の職務と類似する職務の常勤職員に適用されている俸給表の1級の初号俸の俸給月額を基礎として、職務内容、在勤する地域及び職務経験等の要素を考慮して決定すること。
- 2 通勤手当に相当する給与を支給すること。
- 3 相当長期にわたって勤務する職員に対し、期末手当に相当する給与について、勤務期間等を考慮の上、支給するよう努めること。
- 4 各府省においては、非常勤職員の給与に関し上記1から3までの趣旨を実施するよう、規程を整備すること。

宮城県国公代表は「ソリン・灯油は上がるが通勤に車を欠かせない。こうした実態を無視した「地方切りすて」勧告は絶対許さない」と決意表明を行いました。

【公務労組代表】 公務労組代表は「物価上昇が生活を直撃、政府・総務省は使用者責任を果たせ」と賃金改善を求め、民間代表は「行き

民間を含め問題事例が増加し苦情相続も出ており、共通の認識を持つ。ただ、パワハラ定義が未確立であり、民間事例も見ながら研究したい。

この回答に対し、以下の点を申し入れ、「職場の期待に添える勧告」を強く求めました。

▼すべの世代で俸給改



この後、炎暑につき、有楽町、銀座そして東京駅前をデモ行進し、行動と要求をアピールしました。

【総人件費削減】が手かせ・足かせに 非常勤職員の給与は予算の範囲内で支給する不安定なものです。提示された最低基準を上回るには、相応の財政措置が必要であり、総人件費削減の壁を打破しなければ実現は困難です。

同時に、「時給1000円以上」の要求からみれば案は不十分です。公務職員の最低基準を引き上げるため、最賃闘争と結合したたたかいを強化していきます。

### 「1級初号俸」まで引き上げ

人事院の「非常勤給与のガイドライン案」 通勤手当や期末手当の支給にも言及

非常勤職員の給与の最低基準を「1級初号俸」(行)1級初号俸は月額13万5600円、時給換算約780円)とし、その水準までの引き上げを目指すとしています。

民間の地域最低賃金をベースにしている地方官署では賃金の引き上げが必要などとも出てきます。また、通勤手当や期末手当の支給についても言及しています。

職場から若い職員がいなくなった。異常な実態を是正して欲しい」と訴えました。

【中央総決起集会 銀座をデモ行進】 「最低賃金の大幅引き上げを」「許すな官製ワーキングプア」の垂れ幕や「勤務時間短縮を」「ノロリが林立した日比谷野外音楽堂で開催した中央決起集会。国公労連はブロック・県国公と単組代表がノロリ旗を掲げて登壇し、「燃料費高騰のもと生活の質上げを」(北海道、

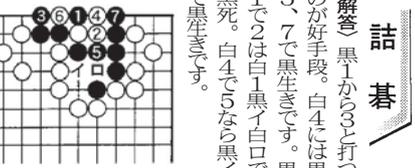
非常勤職員の給与の最低基準を「1級初号俸」(行)1級初号俸は月額13万5600円、時給換算約780円)とし、その水準までの引き上げを目指すとしています。

民間の地域最低賃金をベースにしている地方官署では賃金の引き上げが必要などとも出てきます。また、通勤手当や期末手当の支給についても言及しています。



しかし、今年はその状況が全體的に広がり、より多くの職員がその状況に追い込まれています。無理な計画を強要し、それを達成するためにノルマ的な運営に走る悪循環。局幹部は職場実態を直視し「調査件数大幅増加」の事務計画を見直すべきです。

【格差「コル」不祥事 近畿・東大阪支部】 昨年の「高級クラブ接待」報道に続き、また大阪局で「コルフ格安接待」報道がありました。仲介したOB税理士は、大量の処分を出した「二七税理士事件」で懲戒免職になった二名の内の一人。これらの土壌が今も倫理観のない幹部を生み出しています。幹部に登用してきた当局の責任は逃れられません。



詰碁 ■(盤書)黒1から3と打つのが好手段。白4には黒5、7で黒生きます。黒1で2は白1黒1白口で黒死。白4で5なら黒1で黒死します。